

平成24年4月27日
農林水産部

県内農地土壌の放射性物質調査の結果がまとまりました。

平成24年の作付けに向けて、昨年11月に実施した62地点の農地土壌の放射性物質調査結果については、「問題となるレベルではない」との専門家の評価で、その後の空間線量等のモニタリング調査でも通常の範囲内でした。

これらの状況を踏まえ、県では春の作付けの前に、昨年4月と同じ5地点で定点調査を行い、今後も推移を把握することとしています。

本年4月の調査結果では、放射性ヨウ素は不検出、放射性セシウムは土壌1キログラム当たり11~116ベクレルでした。

今回の調査結果について、新潟大学工学部 今泉 洋教授から次の評価をいただいております。

「この土壌から米への移行を考えた場合、土壌のセシウム濃度の0.2%程度であると確認されているため、米への移行は問題となる数字ではないと考える。しかし、引き続き、定点観測を行っていく必要がある。」

記

1 調査方法

(1) 調査対象核種 放射性セシウム、放射性ヨウ素

(2) 土壌の採取方法

調査は場内5か所から、土壌採土器を用いて表土から15cmの深さまでの土壌を筒状に採取し、混和して分析試料を作製

(3) 分析機関

一般財団法人新潟県環境衛生研究所

2 調査結果

単位：ベクレル/kg乾土

採取地点 (市町村(地区等))	平成24年4月調査			(参考)平成23年11月調査		
	セシウム134	セシウム137	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137	ヨウ素131
新発田市(新発田)	検出されず	22	検出されず	検出されず	20	検出されず
新潟市(西蒲区)	検出されず	14	検出されず	検出されず	13	検出されず
長岡市(長岡)	検出されず	11	検出されず	検出されず	11	検出されず
南魚沼市(六日町)	45	71	検出されず	20	32	検出されず
上越市(上越)	検出されず	14	検出されず	検出されず	15	検出されず

注1：測定方法：ゲルマニウム半導体を用いたガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析法

定量下限値は、セシウム134、セシウム137、ヨウ素131それぞれ10ベクレル/kg乾土

注2：「検出されず」は、検査対象の核種毎に、定量下限値未満であることを示します。

【本件に関するお問い合わせ先】

農産園芸課課長補佐 牛腸
電話 025-280-5809
内線 2922